最先端の仮想化：ハイブリッドな自由への確かな道

従来の仮想マシン(VM)から、VMとコンテナが共存するセキュアなハイブリッドプラットフォームへの移行方法を探ってみましょう。

仮想化はかつて進歩の原動力でした。しかし、今日では、コストの上昇、ロックイン、柔軟性のないプラットフォームにより、可能性が限られています。モダナイゼーションには、リスクを低減し、大切なものを守り、イノベーションの機会を創出する戦略が求められます。Red Hat OpenShift とVeeam Kastenは、貴社のペースでモダン化を進め、柔軟で将来対応可能なハイブリッド基盤を構築するご支援をします。

レガシーからハイブリッドへの移行。
モダナイゼーションは従来のVMを手放すことではなく、それらを自分のやり方で運用することです。ハイブリッド回復力への道はここから始まります。

Stop 1

出発
ロックインから脱却し、自信を持って始める。

課題：移行は、ワークロードを独自のハイパーバイザーや高コストの契約から解放することから始まります。

進むべき道：Red HatとVeeamにより、組み込みデータ保護で評価、計画、移行が可能です。

評価して戦略を立案する

Red Hat Virtualization Migration Assessment (VMA)を使用して、現在のワークロードを評価し、コスト削減や最新化の機会を特定します。

保護を計画する

初期段階からデータ保護を組み込み、移行前、移行中、移行後のすべての段階でワークロードが確実に保護されるようにします。

安全に移行する

Red Hat Migration Toolkit for Virtualization (MTV)を使い、中断やデータ消失なしでワークロードを移行します。

進路を決める

コンテナ、VM、アプリケーションの最新化にはOpenShift Virtualizationを、VMのみの場合はOpenShift Virtualization Engineを選択します。

自信を持って移行。

ワークロードがあらゆる段階で保護されていることを確信してください。

Stop 2

移行

統合と保護。ハイブリッド環境を思いのままに運用する。

課題：移行後、多くの組織が未知の領域に直面します。統合された保護がなければ、道のりは停滞します。

進むべき道： OpenShiftはVMとコンテナを同じ軌道に乗せます。Veeam Kastenは、ワークロードが到着した瞬間からデータの回復力を確保します。その結果、ハイブリッドな未来へのスムーズで安全な乗り心地を実現します。

自動的に検出し、保護する

Red Hat OpenShiftにワークロードが届いた瞬間に、Veeam Kastenにワークロードの特定と保護を任せます。

管理を簡素化する

バックアップ、復元、コンプライアンスを一貫性のあるハイブリッドプラットフォームの下で統合します。

回復力を強化する

イミュータブルな物理的に隔離されたバックアップを活用して、ランサムウェアから防御し、監査対応を実現します。

すべてを自動化する

ポリシーベース自動化によって、ポリシー、復元、管理を合理化し、円滑な運用を維持します。

途切れない保護。
すべてのクラスターに揺るぎない信頼を。

Stop 3

行き先
制限のない進化。ハイブリッドな未来を築く

ようこそ： ハイブリッドの自由を享受し、最新のアプリ配信へと拡張しましょう。堂々と新たな現実へ踏み出して、環境をまたいだワークロードの自由と常時データ保護を実現しましょう。

VMとコンテナを同時に稼働する

強制的な書き換えや中断なしに、VMとコンテナの両方をRed Hat OpenShift上でシームレスに稼働させます。

自分のペースで最新化する

ビジネスニーズの変化に合わせてアプリケーションを段階的にリファクタリングし、すべてのステップに柔軟性を組み込みます。

セキュアに拡張する
組み込みの保護と一貫性によって、CI/CD、ハイブリッドクラウド、エッジ運用を可能にします。

エンドツーエンドのコンプライアンスを確保する
不変性、ロールベースのアクセス制御(RBAC)、監査対応の制御をハイブリッド環境で実現し、管理と可視性を維持します。

ハイブリッド回復力の実現。
モダナイゼーションを、思いのままに。

モダナイゼーションは一足飛びではありません。シームレスな接続です。

Red Hat OpenShiftとVeeam Kastenにより、モダナイゼーションは最初の移行から将来に備えたハイブリッド状態まで、セキュアかつスケーラブルに実現できます。

自信
移行前に保護を計画し、移行をスムーズに行います。

回復力
オンプレミスやクラウドで、VMとコンテナを統合的に保護します。

セキュリティとコンプライアンス
イミュータビリティ、監査対応、ランサムウェア防御機能が組み込まれています。

最先端の仮想化で期待される主な成果

明確性：
現在の状況から目指すべき場所への明確な道筋。

柔軟性：
従来のワークロードとクラウドネイティブのワークロードを一緒に実行し、管理。

回復力：
変化の中でもビジネスが保護されているという自信。

コントロール：
ロックインから、ビジネスに合わせて適応する統合プラットフォームへの移行。

コスト効率：
古くて高価な仮想化プラットフォームへの依存を軽減。

将来への備え：
将来必要となるアプリ、クラウド、アーキテクチャを支える基盤。

あなたは次のステップに向かって順調に進んでいます。

今すぐ行動しましょう。プレイブック全編をご覧ください：
「モダナイゼーションジャーニー：ハイブリッド回復力の達成」

veeam Red Hat